

こどもの日 特集2

# 交流センターで、親子で楽しもう

交流センターの和室から子どもたちの歓声があがります。0才児から、未就園の子どもなら誰でも参加できる子どもと親が楽しめるサークルを紹介します。

## ほすい 母推(母子保健推進員)

「母推」では、偶数月の第2水曜(10~11時)には育児相談、奇数月には子育て応援講座(ベビーヨガや息ぬき講座など)を(9時半~12時)開いています。市の委託をうけて「母推」は妊娠中や育児中の家庭に訪問を行い、保健師さんとのパイプ役もしています。お気軽に声をかけて下さい。

## 太陽クラブ 金魚すくい中

○毎月第4金曜日 10:00~12:00  
○会費 実費500円位  
○七夕飾り、ハロウィンパーティー、親子ヨガ、クリスマス会、縁日などを行っています。

## 親子リズム

- 毎週火曜日 10:30~12:00過ぎ
- 会費 900円(入会金100円)、最初の月は無料
- みんなで輪になってお話しよう、体操、歌、本の読み聞かせなど
- 年令の違う子が一緒に遊び、お母さんたちも仲良しになれるよ。
- 親子リズムで子育てした方が、その楽しさをほかの子どもたちに伝えています。

# 写真で見る 大歳今昔 Vol.6

### 昔の国道9号 高井バス停あたり



この写真は、昭和38年(1963年)頃の旧国道9号です。場所は、高井バス停付近と資料に

はありましたが、もう少し東側、今の大隅会館付近のようです。場所が特定できないのは、今に残る建物が全くないからです。60年近く前の風景なので仕方ないと言えますが、あまりの変わりようには考えさせられます。大歳の交通路は、時代とともに変遷してきました。古くからの石州街道の北に、国鉄山口線ができ、さらに北に、国道9号ができ、その9号もバイパス工事により現在の道路になっています。時代と共に北へ道路がつけられ



現在の県道204号線大歳駅入口信号あたりた姿が鮮明です。

写真当時の道路は、中央車線も歩道もないままの状況でした。交通量が増える中で道幅が倍近くに拡張され、中央車線や歩道も整備され、車が安全に効率的に流れていくように改善され、時間に追われるような生活が日常化している現在。この写真の頃のような緩やかな車や時間の流れをうらやましく感じてしまうのは、年をとったせいばかりでしょうか。

Welcome Ootoshi

## 好評! 大歳の気になるお店

はじまりは一粒の種から

# nogaaru



今回は、矢原町にある古民家風の佇まいのフラワーアトリエ&ショップの「ノガアル」を訪ねました。「ノガアル」という店名の由来は、「野がある」暮らしの提案をコンセプトにお花のある暮らしで、心の豊かさを得てほしいと言う思いから店名をつけられたそうです。オーナーの坂本奈緒美さんは宇部市出身で2019年に当地にお店を開かれ、花に関わるアーティスト活動をされており花束やアレンジメント、移動販売の他にイベントやお店の装飾、アレンジメント教室など各方面で活躍されています。シックでセンスがよいと好評だそうです。(TYSの番組「Mix」にもお花のコーナーで出演中)

2021年よりMOSSYという別ブランドを立ち上げ、日本らしい苔(moss)という植物をベースに様々なデザインを用いて、ホテルやオフィス、ショップや商業施設、ご自宅のアートディスプレイとして苔アートを手掛けられておられます。

植物の世界は深く、そして広いと感じさせてくれるお店です。



賛同した有志が 金山に登って

## 広がる「金山に展望台を」運動



交流センター

千代丸橋

金山から見た大歳の町並み

朝田墳墓群の北側の小高い山は金山と呼ばれる鉱山跡で、かつては途中に火葬場あり、野辺送りの煙がたなびいていたと言います。この金山の頂上の木々を伐って広場に、大歳から山口市街・吉敷を一望できる展望台にしてはという話がでて、好き者が集まって、まず金山に登ってみようということになりました。朝田墳墓群から登っていく道とすること、子どもでも登りやすい道であることなどの条件を考えながら、登りましたが、登るたびに降り着く場所が異なり、縦横に交差する獣道に惑わされて、登山道の設定さえなかなかできません。

写真は3月21日の登山者一同です。なんと10名に増えました。大歳の山には登山道も、コース表示もまったくありません。市内の山に登る人の話では、コース表示は不可欠で、これがなければ初心者が登山を楽しむことはできません。まず、金山から、登山道の整備・コース表示、そして展望台づくりをはじめ、さらに秋葉山、ほたぎ山、高場山などに広げていこうと話も広がっています。

私も参加したいという方大歓迎。